

第一号議案

事業報告書

第十一期

自 平成22年4月 1日

至 平成23年3月31日

社団法人 大阪府剣道連盟

平成 2 2 年度事業報告

はじめに

3月11日に発生した東日本大震災において、お亡くなりになった多くの方々に深い哀悼の意をささげると共に、想像を絶する被害にあわれました皆様方に対し心よりお見舞い申し上げます。未曾有の災害であり、剣道界そして各地の剣友にも直接的、間接的に甚大な被害が及んでいることと存じます。この上は、我々も剣道精神を基に一日も早い復興に、援助、尽力することが必要でありましょう。現在は、ただでさえ、不安定な政局の下で、経済・外交など多方面に閉塞感が漂っております。今こそ日本国一丸となり復興そして次なる発展につなげて行く施策・努力が肝要だと存じます。

このような状況の下、社団法人大阪府剣道連盟は、大阪府における剣道界を統括し代表する組織として、剣道の普及発展を図り、府民の健全な心身の育成に資することを通じ、元気で明るい社会の発展に貢献することを目指し、諸事業を行いました。

特に、長年の懸案事項であった「個人会員制」に本年4月より移行、それに伴い、個人会員管理システムも完成させ、個人会費徴収の準備が整いました。また、会員代表の代議員選挙も実施致しました。さらに、新公益法人への移行申請を鋭意準備中であり、現在の社団法人大阪府剣道連盟の組織、あり方を発展的に変更する時期となっています。

当連盟にとって、これらの新形態が大阪府の剣道普及発展の大きな推進力となるよう今後とも努力いたします。

本連盟は、平成22年度事業計画に基づき、以下の各種事業を実施した。

1. 会員の入退会状況

本年度の入会登録団体は3団体あり、退会登録団体は2団体で、本年度末の登録団体数は526団体と1団体減少した。

2. 定款第3条の「目的」に則り、平成22年度事業を以下のとおり実施した。

3. 定款第4条(2) 「講習会の開催及び指導者の育成」

真の剣道精神と正しく高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層の剣道の普及発展を図る為、当連盟が主催する講習会を、審判法3回、日本剣道形3回、指導法4回、又、女子剣道普及のための講習会を3回、合計で13回開催した。前年より2回減少した。

剣道では、地区・職域における講習会には、講師手当の一部を補助して開催を促進し、審判12回、日本剣道形8回、指導法5回、合計で25回開催し、中体連、高体連、学生連盟、官公署は5回開催した。

これらの講習会に、段位・級位審査員、審判員および称号受審者に年2回の受講を義務づけている。居合道では、特別強化練習会・夏季講習会など9回講習会を行い、杖道では、7回の主要講習会に加えて10回の月例研修会を開催した。

4. 定款第4条(3) 「各種大会の開催」

- 本連盟主催分・・・ 6月20日(日)第47回大阪杖道大会
6月26日(土)第43回大阪府少年剣道大会
7月11日(日)第57回大阪府剣道優勝大会
9月19日(日)第5回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
10月9日(土)第40回居合道段別大会
11月3日(祝)第7回大阪府女子剣道優勝大会
11月7日(日)第33回関西杖道優勝大会
12月5日(日)第52回大阪居合道大会

恒例となった全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会も、第5回目を迎え、全都道府県からの参加を得て(小学生46チーム、中学生47チーム(但し大阪府チームは各2チーム出場))、無事に終えることができた。本大会は、文部科学省・総務省主唱による剣道普及発展と地域の再生を促進するため、(財)地域活性化センターからの助成を得て、大阪市とともに開催している大会である。

- 本連盟主管分・・・ 4月29日(祝)第58回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
5月23日(日)大阪市長杯第54回市民剣道大会

5. 定款第4条(4) 「府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣」

次のとおり派遣した。

- | | | |
|-----------------|----------------------|---------------------|
| 4月3日(土)～4日(日) | 第45回剣道西日本中央講習会 | 神戸市 |
| | | 伊藤、佐藤、新屋 |
| 4月18日(日) | 第8回全日本選抜剣道八段優勝大会 | 名古屋市 |
| | | 石塚、小坂、船津 |
| 5月2日(日)～5日(祝) | 第106回全日本剣道演武大会 | 京都市 参加者376名 |
| 5月19日(水)～23日(日) | 第48回剣道中堅剣士講習会 | 奈良市 |
| | | 森岡、古川、三浦 |
| 7月17日(土)～18日(日) | 第10回近畿剣道連盟夏季講習 | 奈良市 |
| | | 島野大、石田健、戸高、中園、宮本、太田 |
| 7月17日(土) | 第2回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 | 東京都 |
| | | 岩堀、間吾、藤山、山本、嶋本、三宅 |
| 8月22日(日) | 第65回国体 近畿ブロック大会 | 京都市 |
| | | 少年男・女、成年女子 13名 |
| 9月19日(日) | 第56回全日本東西対抗剣道大会 | 佐賀市 |
| | | 塚本、古川、江藤、船津、岩堀 |
| 9月19日(日) | 第5回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 | 大阪市 |
| | 小学生チーム 2チーム | |
| | 中学生チーム 2チーム | 計4チーム |

9月26日(日)	第49回全日本女子剣道選手権大会	藤枝市 道下、山本
10月2日(土)～4日(月)	第65回国民体育大会	千葉県館山市 少年男・女、成年男 計3チーム
10月9日(土)～11日(月)	第23回全国健康福祉祭いしかわ大会	羽咋市 大阪市チーム：増田、石田、宮坂、河内、高島、當山 大阪府チーム：山崎、西本、古賀、鳥濱、高崎 堺市チーム：山田、猿田、花川、出口、浅野、原田
11月3日(祝)	第58回全日本剣道選手権大会	東京都 寺本、古川、木和田

6. 定款第4条(5) 「称号および段級位の審査ならびに段級位の授与」

段位審査会は、剣道6回、居合道2回、杖道2回実施した。剣道の受審者数は5,712名で、前年より11.4%減少した。また、居合道はやや増加したが、杖道はやや減少した。

7. 定款第4条(6) 「功労者の表彰」

- ①平成22年度 全剣連 剣道有功賞 鈴木 隆俊
服部 赳
- ②範士受称 剣道 小坂 達明
居合道 中野 八郎
- ③八段昇段 剣道 池田 正史 ・田 一秀
北村 宏二 松原 豊
杖道 森本 訓史 池原 一義
- ④平成22年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞
- | | | |
|-------|---------------|---------|
| 大阪北地区 | 城東剣道クラブ | 豊里剣道クラブ |
| 大阪南地区 | 南大阪剣道同好会 | 千島剣友会 |
| 北河内地区 | 啜剣志会 | |
| 中河内地区 | 八尾東山本剣道教室 | 天美誠心剣友会 |
| 南河内地区 | 河南剣心会 | 育明館 |
| 堺地区 | 堺剣協青少年センター剣道会 | 創心館 |
| 泉州地区 | 泉大津錬心館 | 振武館 |
- ⑤平成22年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞
- | | | |
|----------|---------|----------|
| 金賞：玉川喜之扶 | 銀賞：友本忠雄 | 団体賞：東剣友会 |
|----------|---------|----------|
- ⑥第37回全日本杖道大会
- | | | | |
|------|-----|-------|-------|
| 式段の部 | 優秀賞 | 白神 義弘 | 宮田 遼平 |
| 参段の部 | 優秀賞 | 老松 克博 | 老松美由紀 |
- ⑦平成22年度全国警察剣道選手権大会 女子の部 優勝 山本真理子

8. 定款第 4 条（7） 「その他前条の目的を達成するために必要な事業」

①普及活動の推進

本年 4 月に個人会員制の導入が行われ、又、新公益法人への移行をひかえ、普及委員（地区担当理事）を中核として 9 地区毎に地区委員会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進している。

◇地区および職域講習会の開催

各地区・職域における指導者層のレベルアップを図り、正しい剣道の普及と活力ある指導者の育成を目指して、例年よりやや多い 25 回開催された。

◇地区大会の開催

各地区および職域等で開催された 31 回の剣道大会に後援、援助を行った。

◇地区昇級審査会の開催

平成 22 年 4 月 1 日から、新制度下で行われており、各地区で小中学生対象に、ほぼ例年どおり 60 回の昇級審査会を開催した。

◇予算措置

9 地区に対しては地区活動費を、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協、道場連盟等に対しては、補助金を各年度予算に計上し、継続して支出し、援助を行った。

◇報道促進

ホームページをより充実させ、迅速な情報提供に努めている。また、新聞・通信社に、当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、積極的に資料・写真等を提供している。

②安全対策

安全講習会

剣道を行うにあたって、安全対策が最重要課題である。最近 AED が多くの場所に設置されているが、その正しい使用方法、また、緊急時の処置など救急救命の研修が重要であると考え、指導法講習会と併せて、2 回実施した。

また、6 月に「スポーツ事故とその法的責任」研修会を、専門家を招聘して開催し、多くの受講生が参加し、大きな反響を得た。

保険加入の徹底

◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要さの理解を求め、大剣連主催行事に際しては、行事傷害保険加入を完全実施している。また新しく、熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となり、安心・安全に行事を開催している。

◇スポーツ安全保険

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（社）大阪府剣道連盟会長とした加入申込書と説明書を全会員団体に送付し、加入を促している。その加入数は 167 団体 3,704 名と増加傾向にある。しかしながら、なお一層の加入者数の増加に努めたい。

傷害発生の傾向

事故・傷害の保険適用件数は 65 件で、増加の傾向にある。安全第一・事故防止に努力せねばならない。重大事故・重大傷害の発生は報告されていないが、四肢の捻挫や骨

折が多い。また、転倒・稽古者同士の接触による事故・傷害が数多く報告されており、稽古の方法について一考の必要があるのではないかと思われる。また、級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

9. 事業活動組織

事業活動は、新たに委員会を設けるなどして、活発な活動を行なった。常設委員会として、総務、綱紀・顕彰、経理、未来構想、安全、IT、法規整備、普及、審査員選考、審判員選考、審査、審判、強化、少年、事業、居合道、杖道の17専門委員会を設置し、また、諮問委員会として、公益法人移行準備委員会、個人会員制移行システム化委員会の2専門委員会を設置して、運営を行った。強化委員会の中には一般男子、女子部、高体連、中体連のグループを設置し、それぞれの領域で活動を行った。特に、4月から個人会員制を実施するにあたり、IT委員会中心に事務全般にわたるシステム化を行った。

個人会員制移行に伴って、従来の団体会員代表から個人会員代表の代議員を選出する必要があり、代議員選挙のため、選挙管理委員会を設置して、その選挙を3月に実施した。これにより、9地区と全域区より総勢260名の代議員が選出された。

10. 今後の課題

◇中学校における武道必修化

中学校における武道必修化が平成24年度より実施されることに伴い、既に試験的に実施している中学校もあり、今後とも普及委員（地区担当理事）を中心に剣道が採用されるよう教育委員会及び各中学校に継続的に積極的な働きかけを行う。

◇安全講習会

平成21年度から引き続き、救急救命講習会を指導法講習会と併せて2回実施した。最近、公共施設などに多く設置されているAEDの使用体験などができるよう、今後もこれを継続して実施する必要があると考えており、各地区・職域に委ねることとする。

また、近年特に問題となっていることから、専門講師を招いての「スポーツ事故の予防と対策、その責任の所在」についての研修会を開催し大きな反響を得た。今後も継続して開催する必要があると考え、平成23年度は6月5日に開催する予定である。

◇新公益法人移行への準備

新公益法人への移行は、社会的により信用を得る重要な問題であり、当連盟においても組織形態・運営及び税法上の観点からも見直しを行い、申請に向けて鋭意準備中である。

新公益法人の認可を受けるため、定款・規約作り、また、社団法人としての会員制のあり方、財政面の確立のため、委員会等で細部にわたり引き続き綿密に検討を継続している。

以上

平成 22 年度事業報告 資料

I 剣道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

次のとおり、講習会、稽古会等を実施した。

講習会名称		実施回数	指導者数	参加者数
連盟主催	審判講習会	3回	7名	137名
	日本剣道形講習会	3回	9名	112名
	指導法講習会	4回	35名	183名
	女子稽古会・講習会	3回	18名	124名
	計	13回	69名	556名
地区職域	審判講習会	12回	32名	706名
	日本剣道形講習会	8回	29名	611名
	指導法講習会	5回	21名	241名
	計	25回	82名	1,558名
合計		38回	151名	2,114名

4月11日(日) 全日本剣道連盟後援講習会 剣道指導法 於大阪府立体育会館
全剣連派遣講師：林 邦夫範士 参加：79名

6月 6日(日) スポーツ事故とその法的責任 於大阪市中央体育館
講師：岡田邦夫(大阪ガス(株)人事部 健康開発センター統括産業医) 参加：142名

9月 4日(土) 救急救命講習会 於大阪市中央体育館
平成23年2月26日(土) 救急救命講習会 於修道館
参加：延43名

(2) 各種大会の開催

5月23日(日) 大阪市長杯第54回市民剣道大会 (大阪市主催、大剣連主管)
優勝 男子の部 (株)ヤマガタ 於修道館
女子の部 医療法人錦秀会 参加：70チーム
380名

6月26日(土) 第43回大阪府少年剣道大会 於舞洲アリーナ
優秀チーム 参加：211チーム
748名
高学年：小曾根剣友会、大阪剣武館、城東警察少年剣友会
低学年：創心館、城東警察少年剣友会、浜寺威徳会

7月11日(日) 第57回大阪府剣道優勝大会 於大阪市中央体育館
優勝 男子一般 パナソニック電工(株)本社 参加：217チーム
女子一般 大阪剣道協会 1,133名
高校男子 上宮高等学校

9月19日(日)第5回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(大阪市、大剣連主催)

於舞洲アリーナ

参加:小学生の部 46チーム

中学生の部 47チーム

小学生の部 2位 Aチーム

11月 3日(日)第7回大阪府女子剣道優勝大会

於はびきのコロセアム

個人戦の部 優勝 一部:平山 二部:鳥濱 三部:村上

参加:145名

団体戦の部 優勝 一部:大阪剣道協会 二部:春風会A

参加:50チーム

160名

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行った。

(3) 各種予選会の開催

4月18日(日)第2回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選

於修道館

代表:間吾、藤山、山本、嶋本、三宅

参加:33名

5月30日(日)第65回国民体育大会・成年の部・大阪府予選

於修道館

代表:(男子)安藤、寺本、佐藤、戸高、緒方

参加:110名

(女子)山本、阪口、内海

6月 5日(土)第23回全国健康福祉祭いしかわ大会・大阪府下選考会

於大阪市中央体育館

代表:大阪市チーム:増田、石田、宮坂、河内、高島、當山

参加:37名

大阪府チーム:山崎、西本、古賀、鳥濱、高崎

堺市チーム:山田、猿田、花川、出口、浅野、原田

7月 4日(土)第49回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選

於大阪市中央体育館

代表:道下、山本

参加:30名

8月29日(日)第58回全日本剣道選手権大会・大阪府予選

於舞洲アリーナ

代表:寺本、古川、木和田

参加:68名

平成23年2月27日(日)第59回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・大阪府予選

於修道館

代表:仲山、高、勝見、川上、榎田、村川、神崎

参加:200名

(4) 審査会

6月20日(日) 千島体育館

7月31日(土) 守口市市民体育館

10月10日(日) 大阪市中央体育館

11月28日(日) 松原市民体育館

平成23年 1月15日(土) 大阪市中央体育館

3月21日(祝) 舞洲アリーナ

	初 段	二 段	三 段	四 段	五 段	合 計	前 年 比	
受審者数	2,476	1,830	597	465	344	5,712	△733	△11.4%
(うち女性)	713	420	181	119	53	1,486	△19	△1.3%
合格者数	1,956	1,232	381	194	115	3,878	△338	△8%
(うち女性)	545	263	83	39	16	946	+35	+3.8%

参考 (称号および六段以上)

	六 段	七 段	八段	錬士	教士	範士	合 計	前 年 比	
受審者数	651	432	216	36	26	—	1,361	+79	+6.2%
合格者数	76	47	4	36	25	1	189	+50	+36%

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

平成23年2月11日(祝)第15回大阪武道祭 演武 於大阪市中央体育館

参加：第5回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会小学生チーム12名及び指導者3名

全剣連主催による次の講習会を主管した。

10月15日(金)～17日(日)

第44回社会体育指導員(初級更新)養成講習会

第34回社会体育指導員(中級)養成講習会

第22回社会体育指導員(中級更新)養成講習会

於舞洲アリーナ

参加：23名

Ⅱ 居 合 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月 3日 (土)	第1回特別強化練習会	於修道館	参加108名
6月19日 (土)	第2回特別強化・全日本居合道大会選考会	於修道館	参加103名
7月31日 (土)	夏季居合道講習会	於東淀川体育館	参加205名
9月23日 (祝)	全剣連伝達講習会	於大阪府立体育会館	参加171名
平成23年1月10日 (祝)	新年合同稽古会	於大阪府立体育会館	参加120名
2月11日 (祝)	高段者特別錬成会 (英信流)	於修道館	参加 40名
2月19日 (土)	春季居合道講習会	於千島体育館	参加176名
2月26日 (土)	第3回特別強化・全日本居合道大会選考会	於府立体育会館	参加104名
3月27日 (日)	高段者特別錬成会 (無外流)	於粉川武道館	参加 30名

(2) 各種大会の開催

10月 9日 (土)	第40回居合道段別大会	於修道館	参加205名
12月 5日 (日)	第52回大阪居合道大会	於舞洲アリーナ	参加1,330名

(3) 予選会の開催

11月 3日 (祝)	第52回大阪居合道大会・大阪府予選会	於修道館	参加198名
------------	--------------------	------	--------

(4) 審査会

8月22日 (日)	夏季居合道審査会	於修道館
平成23年3月 5日 (土)	春季居合道審査会	於大阪府立体育会館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	39	19	29	30	12	129	+13名
合格者数	38	17	26	14	8	103	△1名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	22	3	9	2	0	—	36	+3名
合格者数	4	1	0	2	0	1	8	△2名

(5) 全剣連関係、その他の事業報告

5月 2日 (日)	第106回全日本剣道演武大会	京都市	参加66名
5月 3日 (祝)	審査会	京都市	
7月 9日 (金)	審査会	兵庫県	
7月10日 (土)～11日 (日)	全剣連地区講習会	兵庫県	参加93名
9月11日 (土)～12日 (日)	全剣連中央講習会	京都市	参加 3名
10月23日 (土)	第45回全日本居合道大会	新潟県	参加22名
11月20日 (土)	審査会	東京都	
平成23年2月11日 (祝)	第15回大阪武道祭 演武	於大阪市中央体育館	
		参加：中野八郎 — 浅野邦雄	
		大林 正 — 光行良一	

Ⅲ 杖 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月 3日 (土) 春季講習会	於東淀川体育館	参加 87名
6月 6日 (日) 審判講習会	於川西市総合体育館	参加 39名
7月 4日 (日) 伝達講習会 1	於川西市総合体育館	参加 45名
8月 8日 (日) 伝達講習会 2	於川西市総合体育館	参加 49名
9月 5日 (日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加 30名
10月 3日 (日) 強化錬成会・審判講習会	於川西市総合体育館	参加 42名
10月 31日 (日) 秋季講習会	於東淀川体育館	参加 75名
4月～3月 杖道月例研修会	於川西市総合体育館	10回開催

(2) 各種大会の開催

6月 20日 (日) 第47回大阪杖道大会	於川西市総合体育館	参加 148名
7月 11日 (日) 第57回大阪府剣道優勝大会	於大阪市中央体育館	
演武 全日本剣道連盟杖道形	石河和彦	— 佐藤政子
一心流鎖鎌術	鹿島 晃	— 坂上 亨
一角流十手術	近藤眞佐雄	— 小野尚宏
内田流短杖術	古谷重勝	— 中野伊織
11月 7日 (日) 第33回関西杖道優勝大会	於川西市総合体育館	参加 146名

(3) 審査会

4月 11日 (日) 於修道館
11月 21日 (日) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	33	24	13	10	4	84	△10名
合格者数	24	20	9	7	2	62	△1名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	2	3	1	2	2	—	10	△2名
合格者数	0	0	0	2	2	0	4	△3名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(4) 全剣連関係、その他の事業報告

5月 2日 (日) 第106回全日本剣道演武大会	京都市	参加 18名
6月 19日 (土)～20日 (日) 第19回全剣連杖道中央講習会	勝浦市	参加 2名
8月 21日 (土)～22日 (日) 全剣連杖道地区講習会	高知県南国市	参加 23名
9月 12日 (日) 第54回全国杖道大会	福岡市	参加 16名
10月 17日 (日) 第37回全日本杖道大会	東京都	参加 30名
平成23年1月 15日 (土)～16日 (日) 全剣連杖道地区講習会	東京都	参加 16名
2月 11日 (祝) 第15回大阪武道祭 演武	於大阪市中央体育館	
	参加：森本訓史	— 中野伊織
	下谷光生	— 坂上 亨

これらの他、普及・振興のために各地・各大会で演武活動に力を注いだ。